

大容量太陽光発電用パワーコンディショナ 2013年度実績 受注容量は約2GWで前年度比1.8倍、出荷容量は約1.6GWで同3.4倍

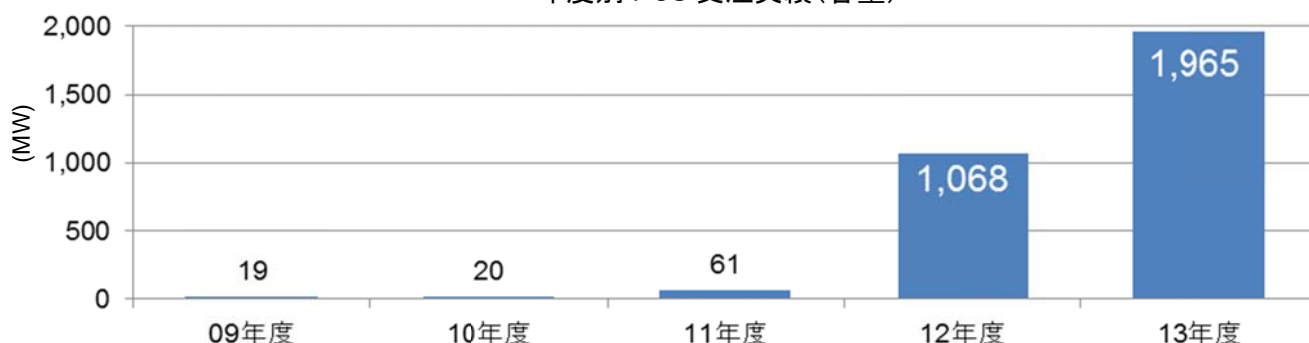
東芝三菱電機産業システム株式会社(以下、TMEIC)(社長:町田 精孝)は、大容量太陽光発電システム用パワーコンディショナ(以下、PCS)の2013年度実績として、受注容量約2GW、出荷容量約1.6GWを達成しました。これは、前年度比で受注容量約1.8倍、出荷容量約3.4倍となります。

これにより、2009年からの累積は、受注容量約3GW、出荷容量約2GWにのぼり、受注ベースでの再生可能エネルギー*発電可能容量は、太陽光パネルの設置面積にして30平方キロメートル、東京ドーム約650個分に相当します。

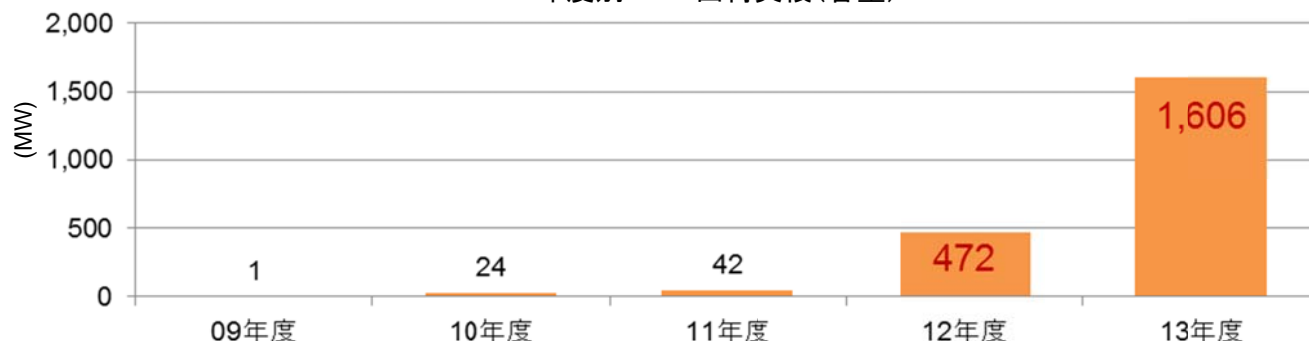
2014年度はPCSの拡販・量産体制の強化を継続していくとともに、保守・サポートなどのアフターサービスを整え、顧客満足度の向上に努めていきます。

*再生可能エネルギー:太陽光、風力、水力、地熱、太陽熱など、エネルギー源として永続的に利用できると認められるもの

年度別 PCS 受注実績(容量)



年度別 PCS 出荷実績(容量)



リリースに記載されている内容はすべて2014年3月末日現在の実績です。

報道関係からのお問い合わせ先

東芝三菱電機産業システム株式会社 事業開発・広報部

〒104-0031 東京都中央区京橋 3-3-1 東京スクエアガーデン

Tel: 03-3277-4645 Fax: 03-3277-4578

TMEIC(ティーマイク)は、社会を支える基盤である「ものづくり」の現場ニーズにお応えするために、社会の発展と美しい地球環境とを調和させる産業システムインテグレータとして、「産業」「社会」「環境」の未来を常に見据えています。工場・プラントにおいて原動力となっている回転機、電力を変換・制御するパワーエレクトロニクス、そしてプラント全体を計画し実現するエンジニアリング、これらの技術をコアに、ものづくりと環境マネジメントに最先端の技術で貢献していきます。